

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	国語科	使用教材	新しい国語1	副教材	解いて覚える中学生の文法・漢字練習ノート・国語の学習
------	-----	------	--------	-----	----------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- 国語の基礎的な知識(漢字や語句、文法など)を身に付けることができる。
- 説明文や物語を読んで、筆者の考えを読み取ったり、登場人物の人物像や心情を捉えたりする力を身に付けることができる。
- 根拠を明確にして自分の考えを書いたり話したりする力を身に付けることができる。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各 ABC の 3 段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1 観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 定期テスト • 漢字小テスト • 授業で取り組む課題(読む、話す・聞く、書くなど)
第2 観点	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> • 定期テスト • 授業で取り組む課題(読む、話す・聞く、書くなど)
第3 観点	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> • 授業に取り組む様子 • 振り返りカード • 授業の課題への取組状況

【授業の進め方とポイントは？】

- 物語や説明文を読んで、様々な課題に取り組みます。積極的に意見を交流しましょう。
- iPadを使って課題に取り組んだり、意見を書いたり交流したりすることもあります。

【家庭学習のポイントは？】

- 読めない、書けない漢字の練習をする。
- 意味の分からない語句を調べる。
- 文法や表現技法など、重要事項を確認する。
- 授業の学習内容を復習する。

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

- 授業で使ったプリントなどを見て、授業内容を復習しましょう。授業での質問内容について、自分の意見をまとめるのも良いです。
- 漢字、文法、古語などは、苦手なところを中心に確認しましょう。

【基礎・基本の身につけ方は？】

- 漢字や語句、文法などは繰り返し学習をして、知識を定着させましょう。
- 文章を読み解く力や話したり聞いたりする力、文章を書いたりする力は、授業で行う課題に一生懸命取り組んで身に付けましょう。

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期		• 巻頭詩「風の五線譜」	• 詩の内容を考える。		2 学 期	• 古文「竹取物語」	• 古文の音読、読解
		• 随筆「話し方はどうかな」	• 「話し方」について考える。			• 古文の音読力、読み解く力 歴史的仮名遣いなどの古文の知識	
		• 「詩の心」	• 詩の鑑賞、詩の作成			• 漢文「矛盾」	• 漢文の音読、故事成語
		• 小説「飛べかもめ」	• 筆者の心情読解			• 文法「体言(名詞・代名詞)」	• 文法事項の学習
2 学 期		• 小説「さんちき」	• 登場人物の心情読解、自分の考えの交流		3 学 期	• 小説「少年の日の思い出」	• 人物像や心情の読解
		• 小説「オオカミを見る目」	• 文章の構成、筆者の主張の読解			• 説明文「ニュースの見方を考えよう」	• 本文の内容読解、筆者の主張の読解
		• 文法「言葉の単位」	• 文法事項の学習			• 文法「動詞」	• 文法事項の学習
		• 文法「文の成分」	• 文法事項の学習				• 人物像や心情を捉える力 • 文章の内容や筆者の主張を捉える力 • 文法事項に関する知識
2 学 期		• 記録文「私のタンポポ研究」	• 事実と考えとを区別する		3 学 期		
		• 古文「伊曾保物語」	• 古文の音読、読解、歴史的仮名遣い			• 情報同士の関係を捉える力 • 古文の音読力、読み解く力、古文に関する知識	

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	社会科	使用教材	中学生の地理（帝国書院）	中学生の歴史（帝国書院）	副教材	白地図ワークシート地理世界 社会の自主学習1（地理・歴史）
-------------	------------	------	--------------	--------------	-----	-------------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

歴史的分野では、原始から中世までの歴史を概観し、歴史の発展について理解を深める。
 地理的分野では、世界の諸地域について学ぶことを通して、世界の人々の生活に関心を深める。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト 課題プリントの内容 小テスト等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト 課題プリントの内容 ノートメモ欄の活用等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト 課題プリントの内容 授業中の姿勢等

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①各課題に集中して取り組み、自分の考えを深めよう。 ②ノートのメモ欄を工夫して、まとめノートとして活用しよう。	①課題プリント、問題集を活用し、語句を正確に覚える。 ②教科書を精読する。 ③関心を持ったことを調べる。
--	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書、地図帳、資料集、ノートの振り返り ②課題プリント、問題集の反復	①授業に集中し、正確に理解する。 ②重要語句を反復学習する。
---	-----------------------------------

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	歴史的分野	・時代や歴史の表し方を学ぶ。 ・旧石器時代から平安時代まで、人々の暮らしがどのように変化していったのかを学ぶ。	・時代区分について理解する。 ・生産力の発展と時代の移り変わりの様子について理解する。	2 学 期	地理的分野	・世界の地域区分や主な国について学ぶ。 ・日本の位置や広がりについて学ぶ。 ・世界の地形や気候など、世界の人々が暮らすさまざまな生活環境について学ぶ。	・地球儀や世界地図の活用の仕方がわかる。 ・時差の計算ができる。 ・世界の地域的特色について理解する。
	歴史の捉え方と調べ方 古代国家の成立と東アジア				世界の姿 日本の姿 世界各地の人々の生活と環境		
2 学 期	武家政権の成長と東アジア	・日本の中世封建社会の特徴について、鎌倉時代から室町時代の人々の暮らしを通して学ぶ。	・それぞれの時代の特徴について。政治や文化などさまざまな観点から比較して考察する。	3 学 期	世界の諸地域 世界のさまざまな地域の調査	・世界の諸地域（6つの州）の特徴について調べる。 ・世界の国や地域を調査し、自分の言葉でまとめる。	・6つの州ごとの特徴について説明できる。 ・様々な資料を活用して調査し、発表する力を付ける。

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	数学科	使用教材	未来へ広がる数学1 (啓林館)	副教材	よくわかる 数学の学習1 (明治図書)
------	-----	------	-----------------	-----	---------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

<ul style="list-style-type: none"> • 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理について理解を深める。 • 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察して表現する。 • 数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したりする力を身に付ける。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1 観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • 小テスト • 定期テスト • 単元末テスト
第2 観点	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • レポート • 定期テスト • 単元末テスト
第3 観点	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • 振り返り • 提出物 (ワーク、宿題等) • レポート

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

<ul style="list-style-type: none"> ①前時までの復習と今日のねらいを明確にする。 ②新しい用語や公式、証明を理解する。 ③例題を通して解法や考え方を学ぶ。 ④問や問題集で繰り返し演習し、定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①その日に学んだことを、教科書や問題集・プリントで練習しよう。 ②以前に学習した内容も、反復して繰り返し練習しておこう。
--	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

<ul style="list-style-type: none"> ①定理や性質、用語を覚える。 ②教科書やノートで解法を確認し、理解を深める。 ③問題集やプリントで繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①先生の話をよく聞き、分からないところは先生に質問する。 ②教科書やノートで解法を確認し、問題集でよりレベルの高い問題に挑戦する。
--	--

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	1章 正の数・負の数	<ul style="list-style-type: none"> • 正の数・負の数 • 正の数・負の数の計算 • 正の数・負の数の利用 	数の範囲を広げ、正の数、負の数の四則について理解し、それらの計算ができる。	2 学 期	5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> • 直線と図形 • 移動と作図 • 円とおうぎ形 	平面図形に対する直感的な見方や考え方を深める。また、具体的な場面で活用し、論理的に考察できる。
	2章 文字の式	<ul style="list-style-type: none"> • 文字を使った式 • 文字式の計算 	文字を使って数量などを式に表したり、表された式の意味を読み取ったり、処理ができる。		3 学 期	6章 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> • 立体と空間図形 • 立体の体積と表面積
2 学 期	3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> • 方程式 • 方程式の利用 	方程式のその解の意味を理解し、方程式が解けるようにする。また、身の回りの事象に利用できる。	7章 データの活用		<ul style="list-style-type: none"> • ヒストグラムと相対度数 • データにもとづく確率 	目的に応じて資料整理し、傾向を読み取ることができる。
	4章 変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> • 関数 • 比例 • 反比例 • 比例、反比例の利用 	関数の意味を理解し比例、反比例を表、式、グラフで表せる。また、身の回りの事象に利用できる。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	理科	使用教材	未来へひろがるサイエンス1	副教材	ステップ式理科ノート、積み上げ理科、グラフィック理科資料集
------	----	------	---------------	-----	-------------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

観察、実験を通して、身の周りや自然で起こる様々な現象について、興味を持ち、理解を深める。また、科学的な見方や考え方を身に付けるとともに、自ら進んで自然について考えようとする力を伸ばす。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト 小テスト 実験・観察の取組 レポート 等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト 小テスト レポート 等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト 小テスト ノート・態度・提出物 等

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①前時までの復習と本日の課題 ②観察・実験を行い、現象を確認 ③観察・実験の結果をまとめ、考察 ④問題演習をして、内容を確認 等	①教科書を読んで復習。プリントを反復。 ②なぜ現象が起こったかを理解し、説明できるようにする。 ③毎時間の授業のつながりを整理する。
--	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書とノートの内容を確認する。 ②演習を繰り返し行う。 ③観察実験のレポートを理解する。	①ノート、教科書を見直す。 ②ノート、プリントで演習する。 ③重要語句は正しく覚える。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章：植物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の仕方 ・花のつくり ・子葉、葉、根のつくり ・種子をつくらない植物 ・植物の分類 	観察や実験を通して、植物の各部位のつくりやはたらきを理解し、違いや共通点を比較して、説明することができる。	2 学 期	3章：水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・物質のとけ方 ・濃さの表し方 ・溶質のとり出し方 ・物質のすがたの変化 ・状態変化と温度 ・混合物の分け方 	水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて説明できる。物質の状態変化についての観察、実験を行い状態変化の特徴を理解できる。
	2章：動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の体のつくりと生活 ・背骨のある動物 ・背骨のない動物 ・動物の分類 	観察や実験を通して、動物の各部位のつくりやはたらきを理解し、違いや共通点を比較して、説明することができる。		【エネルギー】 光・音・力による現象 1章：光による現象 2章：音による現象 3章：力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射と屈折 ・レンズのはたらき ・音の性質と伝わり方 ・力の種類とはたらき ・力のつり合い 	身近な現象を捉え、原因を追究し、説明することができる。
2 学 期	【物質】 身のまわりの物質 1章：いろいろな物質とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具と使い方 ・物質の区別 ・重さ・体積と物質の区別 	実験に対する基本的な操作方法を身につけ、理科室で安全な環境で実験できる。物質の特徴を様々な方法で調べ、その結果を比較・分析して区別することができる。	3 学 期	【地球】 活きている地球 1章：身近な大地 2章：ゆれる大地	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な大地の変化 ・ゆれの発生と伝わり方 ・ゆれの大きさと規模 ・マグマの性質と火山 ・マグマからできた岩石 ・堆積岩の種類と特徴 ・地層・化石からわかること 	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な地形・現象と関連付けて理解できる。地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性を見出して、説明することができる。
	2章：いろいろな気体とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の区別 ・身の回りのものから発生した気体 	様々な方法で発生させた気体の性質を安全に実験し、比べることで気体を区別できる。		3章：火をふく大地 4章：語る大地		

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	音楽科	使用教材	中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）	副教材	音楽の鑑賞資料と基礎学習
-------------	------------	------	-----------------------	-----	--------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽のよさや美しさを感じ取り、基礎的な表現力を伸ばす。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	歌唱・器楽の練習の様子、提出物の内容 定期テスト、実技テスト
第2観点	思考・判断・表現	プリント類の提出とその内容 定期テスト、実技テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	実技練習の様子、定期テスト、実技テスト 授業中の様子、プリント類の提出

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①持ち物をそろえて持ってくる ②話を聞くととき、表現活動をするときのメリハリを付ける。	特になし
--	------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①授業内容の復習 ②プリント類を読み返し、ポイントを整理・理解する。*期末テストを実施	①いろいろな音楽を聞く。 ②反復練習をする。 ③間違いをおそれず音で表現する。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力	
1 学 期		・校歌を覚えよう	・正しい発声を身につけのびのびと歌う。 ・正しい指使いを覚え、演奏する。 ・音符休符の名前、長さを理解する。 ・楽曲の背景を理解し、曲想を味わい聞くことができる。	2 学 期		・器楽	「エーデルワイス」 低音、高音の指使い 実技テスト 諸記号の使い方 指揮の動き 「春」	・歌曲に関心を持ち、詩を理解して表現する。 ・平易な曲を演奏できる。 ・諸記号の意味を理解し、演奏活動の中で使用できる。 ・楽曲の特徴に関心を持ち情景を想像する。
		・歌唱				・楽典		
2 学 期		・器楽	・混声合唱による豊かな表現に関心を持ち合唱しようとする。	3 学 期		・歌唱	「マイバラード」 楽譜の読み方ーリズム作曲 日本の音楽 箏の実演 「雅楽」	・歌唱合唱の基礎が定着し、協力して演奏する。 ・基本的な読譜力が身に付き演奏活動に生かす。 ・和楽器に親しみ、響きの美しさを味わう。
		・楽典				・鑑賞		
		・鑑賞						

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	美術科	使用教材	美術1	副教材	美術資料 京の美、WATCH2
------	-----	------	-----	-----	-----------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

表現や鑑賞などの活動を通して、造形的な見方や考え方を働かせ、美術と関わる資質、能力を育てる。形や色、材料、光など造形的な要素について理解し、表現や鑑賞に生かせるようになる。主題から構想を練ったり、美術や美術文化について見方や感じ方を深める。楽しく活動に取り組み、美術を愛好する心を育てる。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	提出作品（材料・用具の生かし方と表現意図に応じた工夫）、定期テスト
第2観点	思考・判断・表現	アイデアスケッチ、作品のテーマ構想、定期テストなど
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	授業態度（取組姿勢）、ファイル（授業プリントの記入内容）、提出作品の完成度や充実度、定期テストなど

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

<ul style="list-style-type: none"> ① 学習目標や作品、技法について知る。 ② 対話やワークシートなどで発想を深める。 ③ 学んだ知識や技法を用いて制作する。 ④ 鑑賞を通して学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 制作の資料を集めよう。 ② 見通しをもち、計画的に進めるための自己点検をしよう。
--	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

<ul style="list-style-type: none"> ① 教科書、美術資料の確認。 ② 授業プリントの復習や確認。 ③ 技法や制作手順、注意点などを確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業や教科書で学んだ技法や手順をよく理解し、実践する。 ② 様々な機会を利用して美術に親しむ。
--	--

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	鉛筆・絵具の使い方 表現（絵画）	<ul style="list-style-type: none"> ・描画用具の種類や使い方などを知ろう。 ・絵具の技法や表現方法を学び、テーマに沿った発想から、効果的に絵に表そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識や技法を理解し、表現する。 ・意図に応じて表現方法を選び、工夫して表現する。 	2 学 期	表現（絵画・デザイン）色 面構成	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴を捉えながら形出しの整理、画面構成の練習をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや自然物を観察し、特徴や美しさなどから構図を工夫して表現する。
				3 学 期	表現（名画模写）	<ul style="list-style-type: none"> ・名画から筆づかいかや、色づかいを学ぼう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象物をしっかりと観察することができる。
2 学 期	色の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・色の知識や効果について知ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、材料、光の性質やそれらが感情にもたらす効果について理解する。 				

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	保健体育科	使用教材	新しい保健体育(東京書籍)	副教材	新しい体育実技(東京書籍)
------	-------	------	---------------	-----	---------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

運動の楽しさを体験するとともに、生涯を通して運動に親しみ、実践し、継続していく能力や態度を身につける。また健康や安全に関する内容を科学的に理解する。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1 観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での技能テスト ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第2 観点	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・単元(種目)ごとの学習カード ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第3 観点	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・単元(種目)ごとの学習カード ・技能テスト(タイム・技術・連携等)の変化 ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①ランニング・トレーニング ②あいさつ・今日の授業内容の説明 ③課題を理解しての反復練習 ④実技テストや記録会	①基本的な生活習慣を確立する。(実践力)
--	----------------------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書をよく読み、理解する。 ②ノートの問題を復習する。 ③プリントがあればしっかりみておく。	①運動や健康について興味・関心をもつ。 ②日常生活では、自分の健康や体力作りの意識を高める。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	陸上競技 球技 水泳 保健	集団行動、新体力テスト ラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> ・号令により、方向変換や列の増減ができる。 ・運動の目標を理解する。 ・50m走の効率的な走法 ・パスやシュートの基本技術 ・正しいフォームで泳ぐ。 	2 学 期	器械運動 武道 球技 陸上競技 保健	マット運動 柔道 ソフトボール 長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできる技を増やす。 ・柔道の礼法等を理解する。 ・キャッチ等の基本技術。 ・持久力を身に付ける。
		短距離走 バスケットボール クロール、平泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 				
		健康な生活と疾病の予防①	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かすことができる。 ・パスやシュート等の基本技術を身につける。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・協調性をもって取り組む。 ・バトンパスの有効な方法を理解する。 	ダンス サッカー				
2 学 期	体育大会に向けての練習	ラジオ体操 リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 	3 学 期	球技 保健	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 	

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	技術科	使用教材	技術・家庭〔技術分野〕（東京書籍）	副教材
------	-----	------	-------------------	-----

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、及び情報の技術についての基本的なことを理解し、それらに係る技能を身につけることができる。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出し、課題を解決する力を身につける。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて工夫し、創造しようとする実践的な力を身につける。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

(1) 問題提起および課題説明 (2) 実際にやってみる。考えを発表する。 (3) 問題点を見つけ、解決に向けて行動する (4) 活動を振り返り、評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた提出課題は早めに、丁寧に完成させ、期限を守って提出する
--	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容をノートやパッドを使って記録し、テスト前にはしっかり見直す。 ・提出課題をテスト前にもう一度やり直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業内容をその日のうちに振り返る。 ・疑問に思ったことは、先生に質問して分かるようにしておく。
---	---

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各 ABC の 3 段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴を理解し、実際に立体を描くことができる ・得た知識を活用し、具体的に制作に取り組める ・限られた時間内に、与えられた課題を正確に完成させる
第2観点	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見、考えを発表することができる ・正確にものづくりをするため、適切な作業を選ぶ ・課題解決に向けて考えることができる
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の内容をノート、パッドに記録し、提出できる ・技術に関する事柄に興味・関心を持って学習に取り組める

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	4. 情報の技術	○情報の技術の原理・法則の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術によって生活や社会がどのように変化してきたかを考えることができる ・基本的なコンピュータの操作ができる ・自分の欲しい情報をインターネットで得ることができる 	2 学 期	1. 材料と加工の技術	○材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・目的とした加工に応じた工具や機器について理解する ・立体を図で描ける力
		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本操作 ・情報通信ネットワークの仕組み ・安全に利用するための情報モラル 	<ul style="list-style-type: none"> ・製図 				
2 学 期	1. 材料と加工の技術	○材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料の特徴とその必要性を理解できる 	3 学 期	1. 材料と加工の技術	○木材とプラスチックを使用した小物入れの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・工具や機器を適切に選択し、製作ができる ・安全に、適切な加工方法で、正確に製作ができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴 					

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	家庭科	使用教材	技術・家庭〔家庭分野〕（東京書籍）	副教材	家庭科ワークノートB2（地域教材社）
------	-----	------	-------------------	-----	--------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

衣生活・住生活に関する実践的・体験的な学習を通し、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、課題を持って自分や家族・地域の生活をよりよくしていく。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト、提出物、実習作品など
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト、実習作品（正確・丁寧・独自性・作業の手際など）、学習プリント、など
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	授業中（含実習）の様子、ワークノートや学習プリントの活用状況、提出物の内容と提出状況、自己評価表、定期テストへの取り組み状況など

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①復習と本時のねらい ②教科書の内容を理解 ③ワーク・学習プリントで学習内容や実習の確認	①授業で学習した教科書の内容を復習しよう。 ②授業で活用しているワークと学習プリントの内容を復習し、実生活でも役立てよう。
--	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書の内容理解 ②ワーク・学習プリントの内容理解 ③その他配布物などの内容理解	①教科書をよく読み内容を理解する。 ②ワークノート・学習プリントの内容を理解する。
---	--

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学期	家族・家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と家族・家庭の機能 ・家庭生活と地域との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の機能を理解し、家族の一員として自分自身の自立を目指す。 ・地域の人々と協力・協働することの大切さを理解する。 	2 学期	私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常着の活用について ・日常着の手入れ ・環境に配慮した衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・TPOに応じた着方や個性を生かす着用について考え、工夫する。 ・日常着の適切な手入れと補修ができる。 ・環境に配慮した洗濯方法の工夫や、衣服の手入れ、再利用の実践。
	私たちの住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきについて知る。 ・快適な住まい方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきを考えることができる。 ・身近な室内環境の整え方を知り、工夫することができる。 		3 学期	生活を豊かにするために	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いて実用物の製作に取り組む。

Simple Syllabus to Support your Learning

第1学年	英語科	使用教材	Here We Go! English Course (光村図書)	副教材	New Enjoy Workbook 1、 3分リスニング、Joyful listening 等
------	-----	------	-----------------------------------	-----	--

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- 英語を通じて言語や文化に対する理解を深めることができる。
- 自分のことや日常生活について、まとまりのある内容を伝え合うことができる。
- 英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が身につく。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各 ABC の 3 段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1 観点	知識・技能	定期テスト・単元末テスト・パフォーマンステスト等
第2 観点	思考・判断・表現	定期テスト・単元末テスト・パフォーマンステスト等
第3 観点	主体的に 学習に取り組む 態度	パフォーマンステスト・提出課題・振り返りシート等

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①リスニング練習 ②新出単語・熟語の練習（個人・ペア） ③新しい文法の導入と口頭での運用練習 ④教科書の内容を理解 ⑤ワークやプリントなどを解く など	①習った単語や英文を何度も声に出して読む。 ②ワークなど、練習問題を解く。 ③習った単語を使って英文を書く。
---	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①既習の単語や基本文を総復習する。 ②教科書の本文を何度も音読する ③ワークやプリントなどを解く。 ④自分の考えを英語で表現する。	①毎日英語に触れる。(聞く、読む、書く) ②既習単語、熟語を覚える。 ③ワークなどの間違っ問題やわかりにくい所を、先生に質問してわかるようにする。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力	
1 学 期	• Let's Be Friends! • Unit 1 Here We go! • Daily Life 1	• 会話から、情報を聞き取る • 自己紹介カードの記入 • 海外宛への送り状を書く	• 自己紹介カードに自分の情報を書くことができる	2 学 期	• Unit 6 Cheer Up, Tina • Daily Life 3 • World Tour 2 • Let's Read 1 • You Can Do It!	• 紹介文を読む 紹介文を書く • 注文のやりとりをする • 日本と世界の時差について知る • 説明文を読む • 「ドリームファミリー」を紹介する	• 飲食店で、注文するやり取りができる • クラスの友達に向けて、身近なすてきな人を紹介する文を書くことができる	
	• Unit 2 Club Activities	• 好みや得意なことを聞き取る • 好きなことや得意なことをたずね合う	• 好みや得意なことなどについてたずね合うことができる		3 学 期	• Unit 7 New Year Holidays in Japan • Daily Life 4	• はがきを読む・書く • 必要な情報を探して読む	• ALT に宛てて、冬休みにしたことや感想などを手紙に書くことができる
	• Unit 3 Enjoy the Summer • World Tour 1 • You Can Do It! 1	• インタビューの内容を聞き取るアンケートを取る • 世界の挨拶や中学生の様子を知る • 自己紹介でお互いの共通点・相違点を見つける	• 夏休みにしたいことのアンケートを取ることができる • グループで自己紹介ができる			• Unit 8 Getting Ready for the Party • Daily Life 5 • Let's Read 2 • You Can Do It! 3	• その場の状況を聞き取る 写真のキャプションを書く • リポートから、現地の様子を聞き取る • 物語を読む • 学校行事の紹介ホームページを作る	• 写真のキャプションを適切な表現で書くことができる • ウェブサイトから必要な情報を読み取り、自分たちの学校紹介ウェブサイトを作ることができる
2 学 期	• Unit 4 Our New Friend	• 人の情報を聞き取る 身近な人を紹介する	• グループで Who is this?クイズができる					
	• Unit 5 This is Our School • Daily Life 2	• 学校公開の案内状を読む お気に入りの施設をたずね合う • 持ち主を探すやり取りをする	• お気に入りの施設をたずね合うことができる					